

2学期は心揺れ動く日々となる ～ 未来は予見できるのだ！ ～

夏休みが終わりました。中学校生活最初の夏休みは、今までと違った忙しさであっという間に終わってしまったのではないのでしょうか。しかし、その忙しさが君たちを大きく成長させてくれたことも事実でしょう。隣に座った友達の顔を、目を見てください。きっと1学期のときとは違った輝きと深みが出てきているはずです。そして、友達の成長に気づくことは、自分が成長していることの証でもあります。

さて、2学期は心揺れ動く日々となります。小学校時代は、先生たちが道を示してくれて、その道に沿って歩みを進めることで、秋季大運動会、秋の旅行などなど、いくつもの大きな行事を成功させてきました。しかし、中学校では、ゴールは示されるが、そこにいたる道のりは自分たちで切り拓いていくことが必要となってきます。

実は、自分たちで道を切り拓く練習はすでに行ってきました。最初に行われた長縄大会を思い出して見てください。自分たちで練習をし、ルールを決め、全力で取り組んだことを。球技大会を思い出しててください。スローガンを決め、自分たちで声を掛け合いながら、応援歌を全員で歌い、全員で声がかれるまで励ましの声を出し続けたことを。そして、高原学校での活動。自分たちで企画し、自分たちで生活を考え、実際に家庭を離れて自分たちだけで三日間を過ごしたことを。

未来は予見できます。

ひとつの大きな山（学校行事）を乗り越えるときには、本当の姿が見えてきます。一つの目標に向けて全員で歩調を合わせようとするときに、一人ひとりの歩幅の違い（気持ちの違い）が明確になり、互いに気持ちを合わせるために、どうすればよいかと悩み苦しむ時期が必ずやってきます。この悩みや苦しみが、行事の成功に不可欠なことなのです。

表面だけ飾り付けて、かっこつけている奴には、本当の楽しみや喜びなんて絶対に見つけられない。自分の思いを抑えたり、困難なことに立ち向かっていったりすることは本当につらいことです。苦しいことです。でも、その先にある未来の世界は、今までに見たこともない希望と自信に満ちた世界が広がってくるはずです。人間としての自分を全部出して友達とぶつかり合わなければ、人間が磨かれない。磨かれるからこそ、新たな自分のよさが光り輝き、大人への新たな一歩を踏み出せるのです。

さて、先生はみんながつらい苦しい道のを全力で応援する。一緒になってつらさを味わい、先生もみんなとともに成長していきたい。未来は予見できます。2学期の終わりに一回りも二回りも成長した姿を思い描きながら、2学期のスタートを切ろう。

全員が同じ思いで歩を進めようぜ！